

未来バンク

2025 年度事業報告

1. 組織

未来バンクは、1994 年 4 月 5 日に設立した未来バンク事業組合と、その融資部門として 1994 年 7 月 11 日に設立した未来舎、一般社団法人 天然住宅の購入者の資金不足を補うために 2008 年 7 月 1 日に設立した天然住宅バンクが合併し、2019 年 2 月 1 日に未来バンクとなりました。市民の志(こころざし)あるお金を、地域社会のためになる活動にまわすことで、一人ひとりがよりよい未来の作り手となる社会の実現を目指します。理事は定員 7 人に対して6人が就任し、監事は定員 1 人に対して 1 人が就任しております。

2026年 6 月 30 日現在において、組合員は 456 名、出資金は 170,303,083 円に達しております。

【未来バンクの理事・監事の名簿及び略歴】

理事長	吉田 達	1956年生まれ 人材開発トレーナー
業務執行理事	佐藤 隆哉	1981年生まれ 会社員
理事	田中 優	1957年生まれ 執筆・講演業
理事	奥田 裕之	1963年生まれ 団体勤務
理事	岡田 純	1971年生まれ 税理士
理事	田中 悠輝	1991年生まれ 団体勤務
監事	奈良 由貴	1960 年生まれ 団体勤務

【出資金／出資者】

	2023年度	2024年度	2025年度	前年度比
出資者 [人]	488	475	456	-19
出資金 [円]	179,966,397	174,875,843	170,303,083	-4,572,760

2. 事業概要

(1) 概要

組合員である市民からの出資金をもとに、環境保全や福祉の向上、地域課題の解決など、市民や NPO 団体・法人による社会的有用性の高い事業や取り組みに融資を行なっています。

(2) 融資事業

未来バンクは東京都知事に対する登録を行っているため、営業店は東京都内にしか設置できませんが、融資は全国的に行うことができます。「非営利特例対象法人」や「特定非営利金融法人」としての届出を行い、貸金業法の総量規制等の適用除外を受けています。

2025年度の新規融資は5件で全て事業融資です。融資の相談は4件ありました。前年度に対して、融資件数は1件の減少、融資額は 9,113,000 円の減少となりました。

【2025年度融資先一覧】 ※融資残高は 2026年 6 月 30 日時点

	年度	融資種	融資先	融資種※	所在地	融資金額 [円]	融資残高 [円]
繰越	2001	事業融資	個人	7	東京都	2,147,452	1,402,710
繰越	2003	事業融資	(有)オフィスフォープロダクション	10	東京都	3,000,000	2,903,000
繰越	2004	事業融資	中間法人	7	福岡県	5,000,000	0
繰越	2013	事業融資	(特非)森のライフスタイル研究所	7	東京都	3,000,000	1,973,192
繰越	2015	住宅融資	個人	7	東京都	3,000,000	0
繰越	2016	住宅融資	個人	7	千葉県	3,000,000	1,457,278
繰越	2018	住宅融資	個人	7	岡山県	2,460,000	234,376
繰越	2020	商品購入	個人	7	京都府	2,000,000	0
繰越	2023	住宅融資	個人	7	京都府	3,300,000	2,587,432
繰越	2023	商品購入	個人	7	岡山県	3,000,000	2,242,917
繰越	2023	事業融資	(株)KURIMOKU	7	宮城県	10,000,000	8,091,505
繰越	2024	事業融資	(特非)えん	1	静岡県	3,000,000	2,792,488
2024 年度 繰越融資					12件	42,907,452	23,684,898
新規	2025	事業融資	(特非)多摩川センター	7	東京都	4,500,000	0
新規	2025	事業融資	2.24 音楽祭実行委員会	10	沖縄県	2,500,000	0
新規	2025	事業融資	2.24 音楽祭実行委員会	10	沖縄県	1,200,000	0
新規	2025	事業融資	(特非)多摩川センター	7	東京都	2,500,000	0
新規	2025	事業融資	(特非)ちばこども協働創造ネットワーク	13	千葉県	987,000	987,000
2025 年度 新規融資					5件	11,687,000	987,000
合計					19件	54,594,452	24,671,898

※特定非営利活動の種類

1.保健、医療又は福祉の増進を図る活動	2.社会教育の推進を図る活動	3.まちづくりの推進を図る活動	4.観光の振興を図る活動	5.農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	6.学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
7.環境の保全を図る活動	8.災害救援活動	9.地域安全活動	10.人権の擁護又は平和の推進を図る活動	11.国際協力の活動	12.男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
13.子どもの健全育成を図る活動	14.情報化社会の発展を図る活動	15.科学技術の振興を図る活動	16.経済活動の活性化を図る活動	17.職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	18.消費者の保護を図る活動
19.前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	20.前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動				

【相談件数／融資件数／新規融資金額／預貸率】

	2023 年度	2024 年度	2025年度	前年度比
相談件数	11 件	11 件	9件	－2件
融資件数	9	6	5	－1件
新規融資金額 [円]	60,305,200	20,800,000	11,687,000	－9,113,000
※預貸率	35.8%	27.1%	22.9%	－5.3%

※預貸率は出資金がどれだけ融資に回っているか示す指標で数値が高いほど融資が活発。の預貸率は、3 月末の融資残高を決算時の出資金で割ったもの。

【2025年度 融資先紹介】

1) 特定非営利活動法人 多摩川センター (<http://tamagawa-c.jp/>)

- 融資種:事業つなぎ融資
- 融資額:4,500,000 円、2,500,000 円 とともに一括返済 (返済完)
- 内容:多摩川の河川情報発信業務、平和島運河環境調査に対するつなぎ融資。多摩川流域において、次世代の命の継承の根源をなす健全な水環境と河川の保全・回復に資するため、自然環境・歴史・文化に関する調査研究と市民向けワークショップなどを通じ、河川と水環境を中心とした社会形成に寄与する活動実施。

3) 2.24 音楽祭実行委員会 (<https://www.224okinawa.org/>)

- 融資種:①事業つなぎ融資 ②一般融資
- 融資額:①2,500,000 円 ②1,200,000 円 とともに一括返済 (返済完)
- 内容:2.24 音楽祭(沖縄・アジア平和音楽祭)は、2019 年 2 月 24 日に行われた辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う沖縄県民投票を機に、毎年 2 月に開催されている。沖縄から東アジアの平和友好を発信する目的で、沖縄県内・国内のみならず、台湾・中国・韓国のアーティストを招聘して完全無料にて開催。
- 支援:沖縄県、(公財)沖縄県文化振興会、令和 7 年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業

4) 【新規】 特定非営利活動法人 ちばこども協働創造ネットワーク (<https://www.npo-en.org/>)

- 融資種:つなぎ融資
- 融資額:987,000 円 一括返済 (返済完)
- 千葉市および周辺地域のこども・若者の健全育成と社会的包摂を目的として 2025 年 4 月に設立された NPO 法人である。代表の一ノ瀬(田村)光子氏は、保育士・社会福祉士・植草学園大学准教授としてこども支援・地域福祉の研究と実践に長年携わってきた。2013 年から千葉市の「どこでもこどもカフェ」モデル事業に関わり、居場所づくりなど地域の課題に即した支援を継続してきた。

同法人の中心事業は、千葉市が実施する「どこでもこどもカフェ」事業の運営支援である。放課後に安心して過ごせる居場所がないこども・若者に対し、地域の大人が見守る居場所を提供する取り組みで、市内 35 か所に広がっている。これらの居場所の質向上のため、カフェアドバイザー派遣、事業者連絡会議の運営、事業効果検証、広報物(居場所マップ)の制作などを担っている。行政との連携、こどもの居場所事業に創設期から関わってきた実績があり、専門性と誠実な運営姿勢から、委託事業の確実な履行を期待。事業継続と地域のこども支援の安定的な実施に不可欠と判断しました。



はたけのアトリエ



わかばC B T こどものまち



こどもの居場所

掲載写真は、団体公式ホームページより引用しています

【繰越融資(要管理案件)説明】

2025 年度は、返済が予定通り進まない要管理案件について、案件ごとの状況に応じた具体的な対応を強化してきました。出資者の皆さまからは、長期間残高が減っていない案件へのご心配の声もいただきましたが、未来バンクとしては、返済条件の調整や負担軽減の提案など、粘り強い協議を続けております。要管理案件は一定数存在しますが、出資金の保全と無理のない返済継続の両立を目指して対応しています。今後も丁寧な管理と情報収集を続け、適切な処理方針を理事会で検討してまいります。

1) 中間法人 福岡県（債務 3,506,071 円を債務免除(貸倒処理)）

2005 年に 500 万円を融資した案件で、現在団体は消滅しています。団体消滅後も元代表者の A 氏が 2026 年まで少額返済を継続していましたが、現在は重い病気により長期療養中です。未来バンクは出資金 497,500 円を債務へ充当し、残余債務 3,506,071 円について債務免除(貸倒処理)とする方針を決定し、A 氏からも承諾を得ています。なお本件の貸倒引当金は過去に全額計上済であり、追加の費用は発生しません。

2) 個人 東京都（残高 1,402,710 円）

2001 年に有限会社B社に 200 万円を融資した案件です。返済遅延が続き、2007 年に代表者が破産し、団体は消滅。破産後も個人は少額ながら返済の意思を示し、2021 年にかけて断続的に返済を続けていましたが、2021 年 5 月を最後に返済が途絶しています。未来バンクからは計 4 回書面で連絡し、個人が保有する出資金 239,719 円の寄付による最終処理案を提示しましたが、返答は得られていません。26 年度に最終的な処理方針を理事会にて決定する予定です。なお本件の貸倒引当金は過去に全額計上済であり、追加の費用は発生しません。

3) (有)オフィスフォープロダクション 東京都（残高 2,903,000）

2004 年に 300 万円を融資した案件で、返済はほとんど進まず、返済率は約 3.2%に留まっています。返済意思を示す連絡は複数回あったものの、実際の返済は伴わず、2024 年 12 月を最後に返済が停止しています。融資から 20 年以上が経過しており、誠実性に欠ける状況であるため、今後の対応方針について 26 年度に最終的な処理方針を理事会にて決定する予定です。なお本件の貸倒引当金は過去に全額計上済であり、追加の費用は発生しません。

4) (株)KURIMOKU 宮城県（残高 8,091,505 円）

2024 年に 1,000 万円を融資した案件で、2025 年 4 月を最後に返済が停止しています。経営悪化の要因はチップ工場の火災と住宅受注の減少であり、KURIMOKU は全取引行と協調して元本返済猶予を要請しています。

現在、活性化協議会で収益力改善計画が作成され、405 事業(経営改善や事業再生を必要とする中小企業・小規模事業者を対象に、税理士や中小企業診断士などの認定経営革新等支援機関が経営改善計画の策定を支援する制度)への移行準備が進んでいます。早期の返済は困難な状況であり、未来バンクとしては出資者の出資金保全の観点から元本返済を優先する方針を伝えています。今後は再建計画の内容を踏まえ、他行との協調を保ちながら返済条件の見直しを検討いたします。

5) 個人 京都府（残高 2,587,432 円）

本件は 2023 年に 350 万円を融資した案件で、融資目的は個人の二世帯住宅の建築費用です。返済は 2025 年 6 月を最後に停止し、2026 年 1 月に小規模個人再生手続きが開始されましたが、債務者から返済不履行の理由説明はなく、住宅建築の状況についても説明がありません。裁判所から提示された弁済率/再生計画案について、未来バンクは出資者への説明責任を果たすための情報が不足していると判断し、8 月 13 日に不同意の意見書を提出しました。今後は債務者または代理人に対し、返済不履行の経緯や弁済率の根拠、融資目的である住宅建築の現状について説明を求める方針です。

(3) その他の事業

ニュースレター・メルマガは、第11号(2026 年3月)を発行しました。

今号では、未来バンクの理念や社会的融資の実践に関わるテーマを取り上げ、以下の 3 本を掲載しています。

1.吉田達『どうせ変わらない』という賢いあきらめを超えて」

社会の変化を諦めず、一人ひとりの行動が未来を形づくるという視点から、希望を取り戻すための考察を紹介

2.奥田裕之「リタ市民アセット財団の公益財団法人化」

市民による資産形成と公共性の両立をめざす取り組みとして、公益財団法人化の意義と今後の展望を解説

3.融資先の活動紹介: (一社)ケアラーパートナー木の根っこ

ヤングケアラー支援を中心に、子ども・若者のケア負担に寄り添う同団体の活動内容を紹介

2025 年 12 月、大学生による卒業論文研究の調査に協力しました。テーマは「社会的連帯経済」や「新たな金融の枠組み」の実践例として、私たちの活動内容や制度設計の考え方、そして今後の展望について説明・意見交換を行いました。学生からは、営利金融とは異なる価値基準で運営される市民出資型の仕組みや、地域の課題解決に資する融資のあり方について多くの質問が寄せられ、未来バンクの理念が次世代の研究関心にもつながっていることを実感する機会となりました。

未来バンクが使用している事務所「小松川市民ファーム」は、2025 年に「一般財団法人 リタ市民アセット財団」が管理する共同事務所になりましたが、今年 1 月に公益財団法人の認定を受け、それを記念するフォーラムが 7 月 26 日に開催されました。フォーラムの第一部で、アセットを利用している団体として未来バンクの活動を発表する機会を得ました。発足当初から現在に至るまでの独自の取り組みや今後の展望などについて、紹介いたしました。



(4) 管理運営

2025年 9 月 27日(土)に定期総会を開催しました。また、理事会は下記の通り原則毎月開催しました。

【理事会/検討会/面談の開催日時・主な議題】

日時	主な議題
2025 年	
8 月 9 日(土) 20:00～21:30	返済状況確認、新規融資検討、役員改選、返済遅延案件の貸し倒れ引当率、総会準備 他
8 月 23 日(土) 20:00～21:00	決算、総会資料すり合わせ 他
(9 月 27 日(土) 14:00～16:00)	定期総会
11 月 8 日(土) 20:00～21:00	融資面談
11 月 15 日(土) 20:00～21:30	返済状況確認、新規融資検討 1 件 他
12 月 14 日(日) 20:00～21:00	卒業論文研究の調査に協力
12 月 21 日(土) 20:00～21:30	返済状況確認、新規融資検討 1 件 他
2026 年	
1 月 25 日(日) 20:00～21:00	返済状況、新規融資検討、ニュースレター 他
2 月 15 日(土) 13:00～14:00	融資面談
3 月 22 日(日) 20:00～21:30	返済状況確認、新規融資検討、新規融資スキーム検討 他
4 月 26 日(土) 20:00～21:30	返済状況確認、生成 AI を活用した融資事前審査検討、新規融資スキーム検討 他
5 月 31 日(日) 20:00～21:00	返済状況確認、生成 AI を活用した融資事前審査検討 他
6 月 27 日(土) 20:00～21:20	返済状況確認、生成 AI を活用した融資事前審査の成果物確認 他

(5) 2025 年度 新たな取り組み紹介

1) 借り換えスキーム

1.7 億円という貴重な出資金をより社会的に有効活用するために、未来バンクとして多くの融資を実施し、事業・団体の活動を支援していきたい。低金利で持続可能な融資を広げることで、社会課題の解決に寄与することを目指す。

昨今、日本政策金融公庫の中小企業事業における「5 年以内の事業系融資金利」は、過去 5 年で緩やかに上昇している。具体的には、5 年前の 1%台→2026 年 8 月時点で 2.75%となっており、事業者の返済負担は増加傾向にある。一方、未来バンクの融資金利は 1.6%と低く、この差を活かした借り換えスキームは、事業者にとっても未来バンクにとっても有用であると考えられる。NPO 法人 1 件、公益財団法人 1 件に相談したが、融資実行には至らず。今後は、まずは一件、丁寧に試し、成功モデルを確立する。

2) 生成 AI を活用した融資事前審査

過去のデータベースと連動させた、面談前の事前 AI 審査と面談時確認事項抽出ツールを作成し、審査プロセスを「高速化・高度化・標準化」に着手した。

※ レポート例 1. 案件概要の整理、2. 過去事例との照合、3. チェックリストによる評価、4. リスク指摘と深掘り質問(審査にあたっての「懸念点」)、5. 総合判定

3. 貸借対照表

事業所名:未来バンク

貸借対照表

2026年 06 月 30 日現在

単位:円

勘定科目	金額		
[現金・預金]			
普通預金	137,583,134		
現金・預金合計			
[流動資産]			
未収利息	15,775		
短期貸付金	987,000		
流動資産合計		138,585,909	
[固定資産]			
長期貸付金	23,684,898		
出資金	30,000,000		
資産合計		53,684,898	
			192,270,807
[流動負債]			
未払金	4,530,613		
貸倒引当金	15,140,390		
貸倒引当準備金	97,108		
負債合計		19,768,111	
[正味財産]			
出資金	170,303,083		
事業準備金	1,682,547		
次期繰越正味財産額	517,066		
正味財産合計		172,502,696	
負債・正味財産合計			192,270,807

4. 活動計算書 事業所名:未来バンク

活動計算書

集計期間:(自)2025/07/01(至)2026/06/30

税抜/税込:

単位:円 税込

勘定科目	<バンク事業>	<その他部門>	<合計>
[経常収益]			
貸付利息	209,219	0	209,219
貸倒引当金戻入	3,546,071	0	3,546,071
寄付金収入	211,500	0	211,500
経常収益計	3,966,790	0	3,966,790
[経常費用]			
外注費	60,000	0	60,000
交際費	0	0	0
通信費	0	141,688	141,688
事務用品費	0	8,922	8,922
諸会費	120,000	0	120,000
支払手数料	11,884	0	11,884
租税公課	0	0	0
地代家賃	0	126,000	126,000
印刷費	90	14,585	14,585
貸倒損失	3,506,071	0	3,506,071
貸倒引当金繰入金	6,596,796	0	6,596,796
経常費用計	10,294,751	291,185	10,585,936
当期経常増減額	-6,327,961	-291,185	-6,619,146
[経常外収益]			
受取配当金	0	269,548	269,548
経常外収益合計	0	269,548	269,548
[特別利益]			
前期損益修正益	389		389
貸倒準備金戻入	77,050	0	77,050
特別利益合計	77,439	0	77,439
[特別損失]			
前期損益修正損	0		0
特別損失合計	0		0
[当期正味財産増減額]			0
当期正味財産増減額	-6,250,522	-21,637	-6,272,159
貸倒引当準備金繰入額	97,108	0	97,108
差引	-6,347,630	-21,637	-6,369,267
事業準備金繰入額			0
当期正味財産増減額			-6,369,267
前期繰越正味財産額			6,886,333
次期繰越正味財産額			517,066

※貸倒引当金という仕組みは既に導入済みであるが、返済遅延が発生してから引き当てるものであった。財務の健全性の観点からは、返済の遅延が発生する前に損失の発生率を考慮して計上することが望ましく、その観点から、貸倒引当準備金を設定する。2022 年 6 月末時点において、天然住宅バンク設立後の 2010 年以降の融資累計額に対する損失額は 0.41%であった。融資残高に貸倒引当準備金率 0.41%を乗じた金額を積み立てる。

5. 財産目録

事業所名:未来バンク

財産目録 2026 年 06 月 30 日現在

単位:円

普通預金	中央労金	137,583,134
未収利息	貸付金の未収利息	15,775
短期貸付金	一年以内に完済する貸付残金	987,000
長期貸付金	完済まで一年超の貸付残金	23,684,898
出資金	生活サポート基金	30,000,000
資産計(A)		192,270,807
未払金	脱退者へ返還予定の出資金	4,530,613
貸倒引当金	延滞債権に対する貸倒引当設定	15,140,390
貸倒引当準備金	引当率 0.41%	97,108
負債計(B)		19,768,111
差引:正味財産(A) - (B)		172,502,696

監査報告書

監査の結果、上に掲げる未来バンクの貸借対照表および活動計算書は、2026 年 6 月 30 日現在の財政状態および同日をもって終了する事業年度の経営成績を適正に表示しているものと認めます。

2026 年 9 月 1 日

監事 奈良 由貴